

多西小学校 田植え体験

多西支店は6月5日、あきる野市立多西小学校の田植え体験を手伝いました。同小学校5年生60人が参加し、米作りの大変さや食の大切さについて学びました。

担任の先生は「食育の一環として取り組みんでいます。食べ物がありがたさや生産の大変さを経験し、普段当たり前に食べているご飯も生産者の方々の働きがあつてこそだということを感じてほしいです」と話しました。

今後は、稲の様子を観察しながら生長を見守り、秋には収穫体験を予定しています。



田植えを体験する児童

多西支店 山口大希

ひので夏まつり初出店

日の出支店は7月25日、「第22回ひので夏まつり」に初めて出店しました。会場内のブースでは、経済店舗や燃料センターで2000円以上利用した方へ配布した、抽選券による大抽選会を開きました。1等から3等には地元野菜の詰め合わせ、特別賞は地元福嶋牧場のソフトクリーム交換券を用意し、利用者への感謝を伝えると共に、JAのPRを行いました。

また、子供向けの的当てやサイコロゲームも実施し、景品の駄菓子とソフトクリーム交換券の獲得を目指し、多くの来場者が足を止め、子供から大人まで笑顔で楽しむ姿が見られました。



景品のトマトを受け取る来場者

日の出支店 山崎翔太

ひまわり飾り店内に彩り

東秋留支店は8月5日、組合員の平野隆久さんの畑で栽培されたひまわりを店内に飾りました。

ひまわりの品種は「東北八重ひまわり」です。花の中心部まで花びらがびっしりと詰まった八重咲きが特徴で、ボリューム感のある花姿が魅力です。

平野さんは、普段はJAの直売所でひまわりを販売しています。当日は支店職員が畑に取りに行き店内に飾りました。

鮮やかな黄色の花は店内を彩り、訪れた組合員や地域の方々からも好評でした。



店内に飾られたひまわり

東秋留支店 内田武蔵

あきる野夏まつりでベジチェック

本店は8月1日、「第21回あきる野夏まつり」に参加し、初の試みとしてベジチェックを実施しました。ベジチェックは手のひらにセンサーを当てて、野菜摂取量の目安を測る機器で、お客様がどれだけ野菜を摂取できているのかを測定します。実際に計測した来場者は「野菜を十分摂取しているつもりでも数値をみると足りないことに気づけました」「普段、自分がどのくらい野菜をとれているか分らないので数値で見ることができずごく新鮮です」と話しました。

夏まつりでは、隣のブースで青壮年部が野菜販売を行っており、測定後に野菜の購入を促すなど地域の農産物販売増加にも結び付けました。



ベジチェックを受ける来場者

本店 浦野響輝